

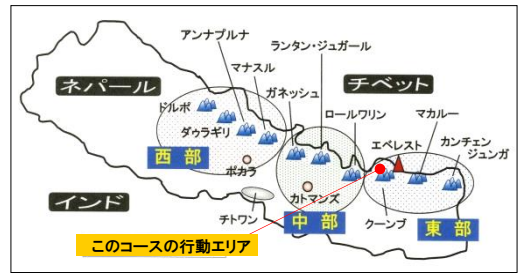
ツアーNo	発着地	レベル	宿泊	高度障害の影響	高所対応機器携行	最少催行
1204	ご相談	A	ロッジ	ややあり	ご相談	3名様以上



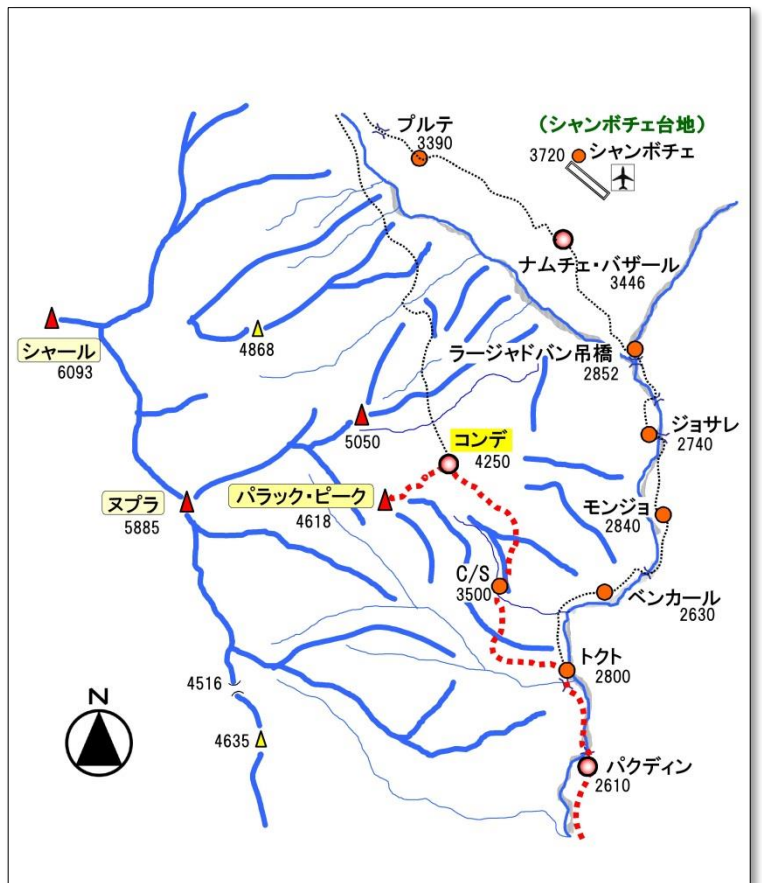
コンデ岩峰の山裾からチョー・オユーからマカルー迄360度の大眺望

コンデ・リの東麓パラック・ピーク登頂11日間

ナムチェより約 1200m高いコンデが新しいエベレストの展望地として人気が出たのは最近のこと。エベレスト街道の起点近くから、途中テント1泊を経てコンデに直接登ります。コンデ・リ岩峰東台地に建つ山岳ホテルに2連泊。パラック・ピーク 4618m に登って今までと違うアングルからエベレストを中心に西はチョー・オユーから東はマカルーまでクープの大パノラマの眺望を満喫はます。比較的短期間でクープの大パノラマを満喫。



日	旅程 (日数の赤数字はトレッキング行動日)	食事
1	日本各地 → アジア都市乗継 → カトマンズ (ホテル) - 機機	
2	カトマンズ → ルクラ 2840m 乗 パクディン 2680m へ(約 4h) 山岳空港ルクラからトレッキングを開始 (ロッジ) 木屋夕	
3	パクディン 乗 トクト 2800m 乗 約 3500m 地点のキャンプサイト(約 5h) エベレスト街道をトクトから分かれ樹林帯を登ります (テント) 朝屋夕	
4	キャンプサイト 乗 コンデ 4200m コンデ・リの東山裾をひたすら登る(約 4h) コンデの眼下にはナムチェ・バザールが見える 山岳ホテル泊 朝屋夕	
5	コンデ 乗 パラック・ピーク 4618m 登頂(約 5h) 今日は 360 度の大パノラマ眺望を目指し早朝にピークを目指しゆっくりと登る 山岳ホテル泊 朝屋夕	
6	コンデ 乗 パクディン 2680m へ(約 6h) 標高差 2000m を終日下る一日、風頃には左下にモンジョ、前方眼下にパクディンが見えてくる (ロッジ) 朝屋夕	
7	パクディン 乗 ルクラ 2840m へ(約 3h) 往路を引き返し (ロッジ) 朝屋夕	
8	ルクラ → カトマンズ 着後自由行動 早朝の便で下山、久しぶりの入浴と自由行動 (ホテル) 朝 × 中	
9	ルクラ便予備日 予定通り下山の場合は終日自由行動をお楽しみ下さい (ホテル) ホ × ×	
10	ルクラ便予備日 終日 自由行動 深夜 カトマンズ発 → (機中泊) ホ × ベ	
11	→ 午前 アジア都市で乗継 → 午後 日本各地着 機機 -	



該当なし 機内食 なし(自弁) ホテル 朝屋夕 ロッジの食事
 由薬料理 ベト+人料理



参考条件 (一部)

- ◇発着空港: 成田・羽田・中部・関空 (他空港発はご相談) ◇トレッキング: ロッジ(テント)泊 10泊11日 ロッジの食事
- ◇食事: 朝9回、昼6回、夕8回 (機内食は除く) ◇行動範囲標高: 2,840m~4,618m 高度障害の影響がややあります
- ◇最高宿泊標高: 4,200m (コンデ) コンデは山岳ホテル (イエティ・マウンテン・ホーム2泊)
- ◇ツアーレベル: **A** 一般コース コースの大半が最高宿泊標高も 3,000m台で高山病の影響もほぼありません。コースの宿泊、山道の状況が良く(目安です) 一日の高低差などが比較的小さい日帰り登山の経験があれば参加可能ですが、短い小屋泊まりの山行経験があればなお良い

プランの取扱について
 お客様のご希望に沿って企画、見積、現地手配を行う **受注型企画プラン(手配ツアー)** の取扱となります。ここに掲載の内容はご検討用のモデルプランです。お気軽にご相談下さい。

ツアー適期		代金の目安
2020(春)	3月中旬~5月下旬出発	(3名様以上の催行) 47万円~49万円
2020(秋)	10月初旬~11月下旬出発	(1~2名様催行) お問い合わせ下さい